



としょかんだより for teens



「としょかんだより for teens」をご存じですか？年に4回発行している中高生向けの図書館だよりです。今回は、過去に紹介した本から、夏休みに読んでもらいたい本をピックアップしました。

図書館・博物館がテーマのおすすめの本！



『本バスめぐりん。』 おおさき こずえ 大崎 梢／著 東京創元社

移動図書館の本バスを舞台に、65歳の新人運転手テルさんと図書館司書ウメちゃんが、巡回先で出会うさまざまな謎を解いていくハートフル・ミステリーです。それぞれの地域で交流できる図書館っていいなと思えるような作品です。



『ヴァンダーカンマー ここは魅惑の博物館』

かしざき あかね 榎崎 茜／著 うえじ こ 上路 ナオ子／画 理論社

中学校の職場体験で自分たちの希望ではない「県立自然史博物館」へ行くことになった5人。担当する仕事も魚類、古脊椎、鳥類、哺乳類、無生物と5人ばらばら。博物館っていったい何をするのかよくわからないし、不安だし、あんまり関心もないし…。おまけに与えられた仕事は、漁港にグロテスクな深海魚を取りに行ったり、フライドチンを食べて骨を洗ったり。でも、それぞれの担当者は少し変わっている感じはするけれど、みんな疑問や質問に丁寧にしっかり答えてくれる人ばかりでした。ひとつひとつ博物館のことがわかってくると、5人の中にいろんなものに対する興味だったり、他のものを思う気持ちがわいたり、ちょっとだけ自信がついたり、と少し世界が広がります。



「博物館って、こんなことするんだ」って、職場体験している気分にもなれますよ。

おすすめ小説！



『スペシャル Q となぼくら
A special "Q" te relationship』

きさらぎ 如月 かずさ／著 講談社

男子中学生のナオは塾帰りにクラスメイトの優英を見かけます。優英はかつらをかぶり、かわいい服を着て、メイクをしていました。この出来事をきっかけに二人は秘密を共有し、仲良くなっていきます。自身のジェンダーに悩みながらも、「好き」なものに向き合う二人はとてキュートでドキドキします。



『洪水の前 自由の物語』

あかがわ じろう 赤川 次郎／著 汐文社

『愛しい友へ……』は、町唯一の工場が閉鎖され、町の人たちがどんどん離れていくなかで、親友だったあゆみが去った町で過ごす典子と彼女の間で起こった不思議な現象とミステリアスな結末。切なくなる作品です。

表題の『洪水の前』は、戦争が始まる時というのは、こんなものかも知れないという思いがよぎる作品です。

現代社会が抱える問題を考えさせるような物語が詰まった、ミステリーの短編集です。



旅をしたい人におすすめ!



『絵で旅する国境』

クドル／文 ヘラン／絵
なかやま よしゆき／訳 文研出版

日本で暮らしていると、国境を意識することはあまりないかもしれませんが、世界には、様々なところに国境があります。簡単にまたげる国境もあれば、行き来の難しい国境もあります。

そんな各地の国境を絵で見て楽しみながら、地球に暮らす私たちのことを考えてみませんか。

温かい気持ちになる本!



『ツバキ文具店』

おがわ いと
小川 系／著 幻冬舎



鎌倉の小さな文具店で代書屋を営む鳩子。彼女のもとには今日も風変わりな代書の依頼が舞い込みます。紙面から手書きの文字の温かさが伝わり、読み終わると、大切な人に手紙を書きたくなります。

歴史が好きあなたにおすすめ!



『歴史を味方にしよう』

どうもん ふゆじ
童門 冬二／著
PHP 研究所



歴史に興味のない人もこの本を読めば、歴史の楽しさがわかるかも!

例えば、織田信長は一般的に粗暴なイメージがありますが、文化を重んじ、経済を発展させたという一面もあります。

有名な歴史上の人物の意外な一面を知ることによって、自分を見つめ直したり、将来を考えたりますきっかけになります。

『見るだけで楽しめる!』

平城京のごみ図鑑 最新研究でみえてくる 奈良時代の暮らし 新装版』

奈良文化財研究所／監修
河出書房新社



これが「ごみ」だって?魚の骨や果物の種子は「ごみ」っぽいけど、土器や金具、人形、仕事のメモなど、平城京跡から掘り起されたものには、驚きがいっぱい!

発掘の様子や出土品の研究についても知ることができ一冊です。



『なんで洞窟に 壁画を描いたの?』

いがらし
五十嵐 ジャンヌ／著
なかじま りえ
中島 梨絵／画 新泉社



歴史部に所属している理乃は、文化祭で発表するテーマを考えていたとき、国立科学博物館で開催されている『ラスコー展』に行くことになりました。それをきっかけに、【ラスコー洞窟の壁画】の謎に興味を持ち始めます。「なぜ暗い洞窟に絵を描いたの?」「美術のはじまりは?人間ってなに?」と、次々とあふれ出す疑問を追いかけて、理乃は実際にフランスまで壁画を観に行きます。

2万年前の人々が遺した洞窟壁画やフランスの博物館を巡りながら、理乃の探求心はさらに高まっていくのです。

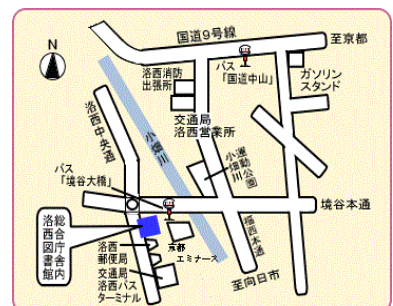


京都市洛西図書館

〒610-1143

京都市西京区大原野東境谷町2丁目 1-2 洛西総合庁舎1階
電話(075)333-0577 FAX(075)333-0887

- 開館時間 平日 : 午前9時30分~午後7時
土曜・日曜・祝日: 午前9時30分~午後5時
- 休館日 毎週火曜日(火曜日が祝日の時はその翌平日)
年末・年始



公益財団法人 京都市生涯学習振興財団